

主要施策名：(3)スポーツ活動の充実

事務事業本数：6

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(3)スポーツ活動の充実	(1)生涯スポーツ活動の普及振興	231-1	市民スポーツ振興事業	スポーツ振興課
			231-2	マラソン大会運営事業	スポーツ振興課
		(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成	232-1	体育団体運営支援事業	スポーツ振興課
			232-2	競技スポーツ大会補助事業	スポーツ振興課
		(3)体育施設の整備充実と利用促進	233-1	体育施設管理運営事業	スポーツ振興課
			233-2	多目的競技場建設事業	スポーツ振興課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民スポーツ振興事業		所管課 【2】	スポーツ振興課
			作成者(担当者)	米田 征平
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実		
	施策区分	(1)生涯スポーツ活動の普及振興		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 6 目 1 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域生涯スポーツを通して、健康づくり、体づくりへの意識を向上させる必要があるとともに、全市的なスポーツレクリエーションの実施により、市民の交流、地域間の融和を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市民、公民館支館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	地域生涯スポーツや地域間の融和を目的としたスポーツ交流事業の推進により、スポーツを通じた市民の交流や生涯を通じての健康の保持、増進及び余暇活動の充実を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	スポーツ大会時に発生した事故に対する見舞金を支給する。 21支館にスポーツ大会の開催・運営を委託する。
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① スポーツ事故見舞金 ② 地域スポーツ振興委託事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,154	945	962	1,156	
	【16】 小計	1,154	945	962	1,156	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.59	0.54	0.10	0.10	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	3,231	2,820	543	545			
合計	4,385	3,765	1,505	1,701			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① スポーツ事故見舞金	スポーツ大会での怪我等に対する見舞金。	見舞金件数	件数	0	0	0	0
② 地域スポーツ振興委託事業	各支館にて実施するスポーツ行事振興委託。	委託支館数	支館	21	21	21	21
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 市民スポーツ大会参加者数(全市民対象事業)	市民スポーツ大会、スポレクフェア及び支館対抗駅伝の合計参加者数	人	1200	150	150	150
			0	0	176	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当 性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 地域間の融和を図るため必要。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 地域のスポーツ振興のために変更する予定はない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 地域コミュニティの衰退、スポーツ振興ができなくなるため、市民への影響が考えられる。
有効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 目標としていた参加人数は達成している。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的達成するために必要な構成である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 各地域への運営費であり、削減の検討余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 委託料を支出しているのみであるため、簡素化の検討余地はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 地域支館によって運営しているため、検討の余地はない。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 各地域で事業実施しているため統合は難しい。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 支館対抗駅伝、各地域のスポーツ振興は参加料を徴収していない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	スポレクフェアについて、玉名市スポーツ推進委員協議会が大部分の業務を担っているため今後も業務移管の検討を行う。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	スポレクフェアについては、玉名市スポーツ推進委員協議会へ細事業組替え後、実施することにした。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	細事業組替えが完了したため、現状のまま継続する。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
コロナ禍においても徐々に各種事業が開催された、今後も市民スポーツの振興のため継続していく。	小山 晃生

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① マラソン大会運営業務	実行委員会を開催する。	実行委員会等開催回数	回	3	4	3	3
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 大会参加者数(全体)	延べ参加者数	人	8000	8000	8000	5000
			0	0	3933	
2 大会参加者数(市外)	延べ参加者数(市外)	人	7000	7000	8000	4000
			0	0	3490	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 実行委員会への補助金には事務局業務の件費が含まれておらず、現時点での補助金の範囲内で運営するには、市(スポーツ振興課)で事務局業務を担う必要がある。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり コロナ禍でマラソンランナーの減少等があったが、今後は従来のとおり開催できると考える。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり 大会当日は、ランナーの宿泊もあるが、市民に対する大きな影響はない。
有 効 性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 コロナ禍での開催となり、参加者が少なかった。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的達成のための、必要な構成になっている。
効 率 性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 昨年度初開催を迎え、実績から予算の見直しを行う。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり デジタル技術を必要とする業務はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり すでに、大会の計測業務などは民間のノウハウを活用し業務を行っている。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり すでに横島いちごマラソン大会実行委員会とフルマラソン大会実行委員会を統合しており、現時点で他の事業との統合の余地なし。
公 平 性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 大会の参加料を徴収している。参加料金についても見直しを行った。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)	新型コロナウイルス感染症の影響により大会が実施できていないことから、本事業の成果に対する評価については大会開催後にコースも含めた大会の在り方について検討及び見直しを行っていく必要がある。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	昨年度初開催を迎えることができた。コロナ禍での開催で参加者は少なかったが、参加したランナーからは、多くのお褒めの言葉をいただいたが、コースについても応援体制についても充実しており、走りやすいコースとの意見が多かった。初開催を迎え、実績から予算の見直しや、反省点・改善点活かした大会全般の見直しを行っている。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 25 前回大会は8,000名のランナー募集を行っていたが、初開催を経験しランナー一人一人の満足度向上のため5,000名で募集を行う。状況をみて今後も、募集人数の検討を行う。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	令和元年度から延期されていたものの、初開催が出来、今後の課題や、予算の見直し等が行える状況に成った。大会の反省点を十分考慮した第2回大会への準備が必要と考える。参加者の声はだまか好評であり、今後の大会においても継続して高評価を持続していきたい。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	体育団体運営支援事業		所管課 【2】	スポーツ振興課
			作成者(担当者)	小川 孝
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実		
	施策区分	(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当なし			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、スポーツ推進委員に関する規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款 10	項 6
			目 1	細目 3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各スポーツ団体の融和や各種目スポーツの競技力の向上、社会体育指導者の育成を図るためスポーツ団体組織への支援と組織力の強化が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市スポーツ協会、玉名市スポーツ推進委員協議会及び熊本県スポーツ協会の運営・活動
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	各競技スポーツの育成及び競技力の向上、地域生涯スポーツの推進と地域間の融和を目的としたスポーツ交流事業の推進による生涯スポーツの充実を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	競技スポーツの競技力向上や選手又は指導者の育成、地域スポーツ活動の普及促進を図るために、玉名市スポーツ協会や玉名市スポーツ推進委員協議会等の運営や活動に対して補助金の交付等により支援を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 ⇒ ① 玉名市スポーツ協会運営支援事業 ② スポーツ推進委員協議会等運営事業 ③ 熊本県スポーツ協会スポーツ振興事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	7,082	3,714	6,010	6,794	
	【16】 小計	7,082	3,714	6,010	6,794	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.84	0.84	1.40	1.40	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	4,600	4,387	7,601	7,631			
合計	11,682	8,101	13,611	14,425			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 玉名市スポーツ協会運営支援事業	スポーツ協会全体及び種目協会に補助し、競技力を向上させる。	交付件数(審判講習会、スポーツ教室補助金)	件	8	11	9	20
② スポーツ推進委員協議会等運営事業	スポーツ推進委員協議会への活動補助を行い、活動の推進を行う。	研修会参加数(全国、九州、県、市、新任研修会)	回	0	2	4	4
③ 熊本県スポーツ協会スポーツ振興事業	県スポーツ協会への負担金を納め、活動支援を行う。	負担金交付件数	件	1	1	1	1

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 県民体育祭総合順位	県民体育祭出場全種目の男女総合順位	位	5	5	5	5
2			-	-	-	-

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 各スポーツ団体の融和や各種目スポーツ競技力向上のため 必要。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 団体のスポーツ振興のため変更する予定はない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり スポーツ振興ができず、地域コミュニティが衰退するため。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 台風14号の影響により中止。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的達成するために必要な構成である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 団体への運営費であり、削減の検討の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 主なものは補助金、負担金の支出であるため簡素化の検討の余地はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり スポーツ協会の運営方法について検討の余地あり。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 団体で事業実施しているため統合は難しい。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし スポーツ団体による振興は、参加料を徴収していない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	玉名市スポーツ協会及び玉名市スポーツ推進委員協議会への支援は、今後も現状のまま継続する。また、各競技団体や施設と協議を行い、コロナ禍で実施できる方法を検討する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	新型コロナウイルス感染症の影響により一部活動は中止となったが、感染対策等を講じることで令和3年度と比べて多くの活動を実施することが出来た。(3大会ぶりに開催予定であった県民体育祭については、台風14号の影響で直前に中止となった。)
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【26】	玉名市スポーツ協会及び玉名市スポーツ推進委員協議会への支援は、今後も現状のまま継続する。なお、スポーツ協会の運営方法については県内の他市町村のスポーツ協会を参考に検討を行う。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	コロナ禍であったが、徐々に各種事業が再開された。県民体育大会においては開催予定であったが台風の影響により中止となったが、準備段階での各種競技団体の機運は久々の開催にあたりかなり高い状況であった。スポーツ推進委員協議会においても、各種事業に関与しており、今後も積極的に支援していくべく考える。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	競技スポーツ大会補助事業		所管課 【2】	スポーツ振興課
			作成者(担当者)	明石 和貴
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実		
	施策区分	(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、玉名市全国大会等出場激励金交付要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	10 項 6 目 1 細目 4

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各種競技スポーツ大会が盛んになっており、小学生から全国大会へ出場する子供たちも増加している。また本市で例年開催されている競技についても、若手選手の育成を目的に実施している伝統競技など、その開催運営費について支援が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	全国大会及び国際大会出場選手(玉名市民に限る)、各大会運営実行委員会
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	全国大会等への出場選手並びにスムーズかつ盛んな競技大会の運営のために補助金等を交付し、競技スポーツの活性化及び向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	本市のスポーツ振興と競技力の向上を図るため、全国大会出場者に対して1万円、国際大会出場者に対して2万円の激励金の交付を行う。また、各競技大会実行委員会に対して大会運営補助を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ⇒ ① 全国大会出場激励金交付事業 ② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業 ③ くまもと玉名杯全九州高等学校レスリング大会補助金事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	9,158	11,724	
		一般財源	310	760	1,820	2,600	
	【16】 小計	310	760	10,978	14,324	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.59	0.24	1.06	1.06	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	3,231	1,254	5,755	5,778			
合計	3,541	2,014	16,733	20,102			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 全国大会出場激励金交付事業	全国大会以上の大会に出場する市民に対して激励金を交付する。	激励金交付者数	人	31	66	132	200
② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	0	0	1	1
③ くまもと玉名杯全九州高等学校レスリング大会補助金事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	0	1	0	1

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 競技スポーツ大会参加者数	参加者数(玉名ハーフ、レスリング、駅伝)	人	1100	1100	1100	1000
			0	58	853	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 各種競技スポーツ大会や伝統競技運営のため必要である。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 各競技団体が実施しているため、見直しはない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり 競技として参加する一部市民のみ、限定的に影響する。多くの市民への影響はない。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 コロナ禍での大会実施となり、入場制限や中止の大会もあることから、コロナ以前の参加者数まで回復していない。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的達成するために必要な構成である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 玉名ハーフマラソン大会はすでに補助金を減額されており、他助成金も活用する等コスト削減はできている。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 年間通じての事業ではなく、1大会として実施するため、デジタル導入等のコスト面から考えれば、現状から変更する必要はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 民間に委託している部分もあるので、これ以上の余地なし。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 競技の性質が異なるため、統合は難しい。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 各事業に参加料が設定されている。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容) 金栗四三氏を冠したハーフマラソン大会や金栗駅伝大会は、各地で大会終了が相次いでいる中で歴史と伝統のあるものとなっている。 全九州高等学校レスリング大会は本市で国体や高校総体が開催されており、レスリングのまちづくりとしてイメージ構築がなされている。 全国大会等出場激励金については市民が全国大会へ出場する際の激励奮起のため、今後も協議を続ける必要がある。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 金栗杯玉名ハーフマラソン大会、金栗駅伝はコロナ禍において無事開催した。 レスリング競技については、新規感染者が増加傾向の時期であったため中止となった。 全国大会等出場激励金は部活動地域移行も見据え、予算確保等財政課はじめ関係部署と引き続き協議が必要である。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	3大会については、現状維持により大会開催を行う。 全国大会等出場激励金についても前年度同予算の下、継続し事業を行う。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	全国大会激励金においては、R3年度に比べ倍増し、全国的に大会が再開されている事を証明しており、今後も玉名市から全国大会出場する市民へ激励として継続的に交付すべき事業であると考えている。また、全九州高校レスリング大会への補助金においても、国体、高校総体でのレスリング競技開催地として当市での大会開催の補助として妥当であると考えている。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 桃田運動公園管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	開館日数(複数施設の場合は最も開館している施設)	日	293	296	358	358
② 岱明、横島、天水地区施設管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	開館日数(複数施設の場合は最も開館している施設)	日	291	294	357	357
③ 蛇ヶ谷公園管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	開館日数(複数施設の場合は最も開館している施設)	日	293	295	358	358

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 体育施設等総利用者数	市スポーツ施設を利用した総人数(公園や広場を除く)	人	450000	250000	250000	250000
			260301	233528	297505	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必妥 要 当 性 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 実施は市で行い、管理をアウトソーシングしている。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 施設の有効利用を図っているため必要はない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 市民の余暇活動、スポーツの拠点及び健康作りのために休廃止は影響あり。(但し市民プールは老朽化のため休止)
有効 性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 コロナ禍による施設利用制限が緩和されたため。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的達成するために必要な構成である。
効 率 性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 桃田運動公園については、令和4年度から直営となり施設更新と維持管理について検討を行っている。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 公共施設予約システムを導入し、手続きの簡素化を図っている。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 桃田運動公園については、必要な維持修繕を行い、再度指定管理を検討する。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 目的が類似する他の業務はない。
公 平 性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担あり(負担率 0.42%)

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	施設の運営等については各管理者と協議を重ねよりよいサービスが提供できるよう努める。また、令和4年度も引き続きコロナ禍での運営となるため検討協議し対応する。
【24】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	新型コロナウイルス感染症拡大防止により施設を一部制限したため利用者数や収入は減少した。令和4年度から桃田運動公園については一時的に直営とし運営を見直している。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
【25】	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	施設の運営等については各管理者と協議を重ねよりよいサービスが提供できるように努める。令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症については感染症法の5類感染症に位置付けられたことにより、施設利用者が増え経営は回復に向かうものと思われる。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	R4年度においてもコロナ禍であり、施設の使用制限を行っていたが、大会数が増えており、利用者も増えているのが現状であり、R5年度においては、5類移行で利用制限も緩和されることから、規制は行わないなかでも安心安全な対策をとり運営していきたいと考える。	評価責任者
【26】		小山 晃生

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	多目的競技場建設事業		所管課 【2】	スポーツ振興課
			作成者(担当者)	酒井 裕之
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実		
	施策区分	(3)体育施設の整備充実と利用促進		
重点 施策 【4】				
	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 10 項 6 目 5 細目 3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	サッカーの競技人口はスポーツの中でもトップクラスであり、玉名市でも多くの市民がサッカーを楽しんでいる。本市は、熊本県下で公共のサッカー場を唯一保有していない市である。サッカー施設の建設について市民から強い要望があるが、現在の情勢を考えサッカー以外にもラグビー、陸上等できるよう市民が利用しやすい施設を検討する必要があると考える。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市多目的競技場
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名市に多目的競技場を建設し、多種目に渡り利用、軽スポーツ等の複合利用により幅広い利用者層を確保し、市外から競技者等を招くことで地域活性化の推進や競技スポーツの振興を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H26 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	サッカー競技人口が増加傾向にあるが、玉名市は熊本県内の14市の中で唯一サッカー場を保有していない。市長公約であり新市建設計画に掲げるサッカー場の建設について、市の基本構想を策定し、施設の整備方針を定めるとしていたが、社会情勢の変化、ニーズの拡大により多目的競技場で整備していくこととした。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ① 多目的競技場建設検討事業 ② ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小計	0	0	0	0
	職人 員 の 費	職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291	
【17】 小計	0	0	0	0		
合計		0	0	0	0	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 多目的競技場建設検討事業	サッカー場建設にあたって会議を開催する。	会議回数	回	0	0	0	0
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 サッカー場建設の進捗率	建設工事進捗率	%	0	0	0	0
			0	0	0	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必妥 要 当 性 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり
有 効 性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当
効 率 性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
公 平 性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	多目的競技場建設については、建設規模及び候補地選定等、内容が多岐にわたるため慎重な協議・検討が必要である。サッカー場整備については、菊池川元玉名地区河川防災ステーション整備計画における敷地一部スペースを活用し整備することを関係機関等と協議する。
【24】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	多目的競技場建設のための検討会議は必要であるが、令和4年度は開催していない。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
	【25】
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的な内容	多目的競技場建設については、建設規模及び候補地選定等、内容が多岐に渡るため慎重な協議・検討が必要である。サッカー場整備については、菊池川元玉名地区河川防災ステーション整備計画における敷地一部スペースを活用し整備することを協議済。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	多目的競技場建設事業においては、防災拠点整備事業で土砂貯蔵スペースを利用して、サッカー・ラグビー等の多種競技の出来るスペースを確保できるよう国と協議中である。大まか了承を頂いているが、今後は天然芝を張っていただく協議を行っていく。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	---	----------------